

「防災とボランティア週間」

『海老名災害ボランティアネットワーク 10年の歩み』

はじめに

海老名災害ボランティアネットワークは、市民、行政及び関係諸機関のご支援ご協力のもと、設立以来10年が過ぎました。10年間の活動を振り返り、私たちの活動を知っていただくため、『防災とボランティア週間』の一環として開催致しますと共に、防災についての啓発活動を実施致します。

主 催：海老名災害ボランティアネットワーク

後 援：海老名市

海老名市社会福祉協議会

海老名市消防本部

神奈川災害ボランティアネットワーク

場 所：海老名市役所エントランスホール

期 日：平成24年1月16日(月)～20日(金)

時 間：午前8：30～午後5：00まで

『防災とボランティアの日』、『防災とボランティア週間』とは？

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災において、各種のボランティア活動及び住民の自発的な防災活動についての防災上の重要性が広く認識されたことから、同年7月に**防災基本計画**が改訂され、「防災ボランティア活動の環境整備」及び「ボランティアの受入れ」に関する項目が設けられました。また、平成7年3月28日に設置された防災問題懇談会は、同年9月11日に「**防災問題懇談会提言**」を取りまとめましたが、この中で、防災ボランティアの重要性やそのための普及啓発活動の必要性が指摘されました。これを受けて、同年12月15日の閣議了解により、「防災とボランティアの日」（毎年1月17日）及び「防災とボランティア週間」（毎年1月15日～21日）が創設されました。

海老名災害ボランティアネットワーク (EDVN) 設立10周年



伝えたいこと

私達は、何時来るかわからない地震等の大災害時に、海老名市災害救援ボランティアセンターを立ち上げ、災害救援ボランティアの皆様と被災者の皆様の中に立ち、連絡調整を行う災害救援ボランティアコーディネーターを育成する団体です。

これは、大災害時に、海老名市民の海老名市民による海老名市民のための救援活動です。

小さな被害の海老名市民が大きな被害を受けた海老名市民の自立に向けた手助けができる、そのような海老名市を目指して活動しています。

海老名災害ボランティアネットワークの設立趣意

海老名災害ボランティアネットワークの設立趣意（設立趣意書より）

私達は、何時来るかわからない地震発生と災害時に、市民・ボランティアと行政が協力し合い、お互いに助け合う関係が必要だと考え、それには平常時から顔の見える関係（ネットワーク）を作り、それぞれが枠を超えた幅広い交流をもつことで、お互いを理解し、情報交換や研修をし、研鑽することで適切な支援活動ができればと考え2001年12月1日に設立しました。

海老名災害ボランティアネットワークの設立経緯

1995年（平成7年）1月の阪神・淡路震災では150万人ともいわれるボランティアが活動しましたが、参集してきたボランティアの方々とは行政側との連携が充分でなかったため、被災者が必要とする救援活動が円滑に行われなかったという課題を残しました。

そこでこの教訓を活かし、参集してくるボランティアと被災者の要望との橋渡し役を担う人々や組織の必要性が全国的に注目されるようになり、その役割を担う組織としてボランティア組織が設立されるようになってきました。

海老名市においても、行政が出来ない部分を補完する組織を構築しようとして、2001年（平成13年）4月に小川正文氏、青木仁氏が発起人となり、検討を重ね、同年12月に「海老名災害ボランティアネットワーク」を小川正文氏他13名で発足いたしました。

設立にあたって私達の共通認識（キーワード）は、「災害時に何かの役に立ちたい」、「年代や性別を超えて、人と出会いお互いに顔の見える関係をつくりたい」、「より多くの人と海老名市について語り合いたい」でした。

私達の活動目的（規約より）

私達は、次の目的を掲げ活動をしています。

- (1) 災害時における、災害ボランティアコーディネーターの育成、並びに災害ボランティアコーディネーターとしての活動組織の構築
- (2) 災害発生時の救援活動に必要と認められる団体やボランティア及び行政等諸機関との連携を図り、相互に助け合う市民社会の形成を目指す。

私達の活動項目（規約より）

- 1 災害発生時のネットワークの活動拠点並びに活動組織等の整備
- 2 災害発生時を想定した各種模擬訓練
- 3 必要と認められる各種講習会等の開催
- 4 各種団体並びに行政機関との交流、情報交換
- 5 広報、啓発活動
- 6 その他目的達成のため必要と認められる事項

私達の10年の歩み

私達が、設立以来歩み続けてきた10年間の活動の一部を御紹介します。

1 私達の目的の第1のために

災害ボランティアコーディネーター養成講座開催

大災害時に駆けつけて来るボランティアと被災者の間に立ち、ボランティアの派遣調整を行う災害ボランティアセンターの活動要員（コーディネーター）として海老名市民が、参加いただくために必要な知識の習得を目指した活動です。
10年間で延べ300人の海老名市民が参加いたしております。



救急救命法講座開催

コーディネーターの必要な知識として、海老名市消防本部の御協力をいただき救急救命法の習得を目指した活動です。



災害図上訓練開催



地図を使って、起こりえる被害をイメージして、具体的な対応の方法や可能性を検討しました。



高齢者・視覚誘導等体験



高齢者疑似体験用具を使い、高齢者や災害による傷害を受けた方々の避難所への誘導方法を体験学習しました。

災害シミュレーション訓練実施

「その日」に備え、災害時の状況をシミュレーションして、貴重な体験をしました。



施設見学研修会開催

県総合防災センターを見学し、災害の怖さ、地震・暴風雨等を体験し、災害時に必要な資機材の備蓄状況等を勉強しました。



厚木市の防災の丘公園を見学し、災害発生時に対応出来る施設や設備の状況を勉強しました。被災者の収容や仮設住宅の設置を想定し、災害対策本部の機能も持ち、平常時は市民の憩いの場としての面も持っている公園でした。



2 私達の第1の目的を達成するために

海老名市災害救援ボランティアセンターの設営訓練

海老名災害救援ボランティアコーディネーターの活動における模擬訓練として、海老名市中央公園にて、海老名市、社会福祉法人海老名市社会福祉協議会と私達の三者でボランティアセンターの設営訓練を行ってきました。



3 地域との輪を広げています

神奈川県・海老名市合同防災訓練に参加

海老名市災害救援ボランティアセンターを設営して、訓練に参加



海老名市地域防災訓練に参加

海老名市災害救援ボランティアセンターを設営して、訓練に参加



海老名市各自治会防災訓練に参加

中新田自治会を始め、各地域の自治会で開催されている防災訓練に参加



4 子ども・父兄への啓発活動

海老名小学校ふれあいフェスタに参加



中新田小学校夏休み防災キャンプ実施



えびなっ子サマースクールに参加



子どもエコ防災塾・親子防災塾実施



5 県内他市や県外との輪も広がっています

柳島ワークキャンプ



静岡での災害図上訓練に参加



座間防災訓練に参加



南足柄防災訓練に参加



横浜市港北区防災訓練に参加



6 起きてはならない、しかし起きてしまう災害 その現場でのボランティア活動に出動

水害現場での泥の搬出活動（新潟水害中之島救援）



地震災害現場での家具類の搬出活動（中越沖地震救援）



津波災害現場での思い出探し活動（東日本大震災救援）



津波災害現場での土砂除去作業（東日本大震災救援）



7 色々な活動

海老名市内防災上注意地域
探索実施



市内防災拠点・防災難易地域
確認実施



震災10年事業（神戸から神奈川県央地域）開催



東日本大震災義援金の募金活動



海老名市災害救援
ボランティアセンター開設

東日本大震災の支援活動のため開設



8 私達のことを知っていただくための活動

サポセンフェスタ参加



報誌発行

海老名ふるさと祭り参加

広



海老名市産業祭り参加

海老名市しみん祭り参加



海老名JC協力

いーえびなネット参加

イオン黄色い
レシートキャン
ペーン参加



9 海老名災害ボランティアネットワークの運営

私達の団体の運営は、総会の議決に基づき運営されています。

総会では、規約の改正、役員承認、事業及び会計報告の承認並びに事業計画及び予算計画の承認、その他代表が重要と認めた事項について審議し決めています。



円滑な団体の運営のため、月1回定例会を開催しております。

個々の事業執行の日程調整や事業計画の内容調整などを検討しています。

海老名災害ボランティアネットワーク これからの活動

私達は、海老名市や社会福祉法人海老名市社会福祉協議会と手を携え、より一層、災害救援ボランティアコーディネーターとして必要な知識の習得に努めると共に併せて、災害救援ボランティアコーディネーターが持っている知識を、多くの海老名市民に提供していく場を構築していくことに努め、大災害時に被害の少ない海老名市を目指してまいります。

そして、私達のことや私達の活動を多くの海老名市民に知っていただき、災害に負けない海老名市に向けて、共に活動する海老名市民が一人でも多くなるように努力してまいります。



海老名災害ボランティアネットワーク
事務局：〒243-0492
海老名市勝瀬175-1
海老名市社会福祉協議会地域福祉課内
電話：046-235-0220
Fax：046-235-0191
<http://www.ebina-saibora.net/>
E-mail：edvn-info@ebina-saibora.net
直接電話：090-3229-8069（代表 橋本）